この城跡を桜の花で埋めつくす運動であった。植樹活動は春先の時季を選ぶため一年がかりの活動になったが、活動が進むにつれて小・中学生の参加もあって軌道に乗った。個人主義の強い今日、青年の参加を呼びかけても集まってくれない中で私たちの活動は微々たるものかもしれないが、自由な発想の中からこれからも町づくりに努力して行くつもりである。

川俣町ふるさとづくり実行委員会　堀川　聡

2、「これは面白い」と思って参加して十年経った。私の心に火をつけた町内の先輩は、どうして十メートルもの松明を立てるのか毎晩論議を交わした。この姿をみて、何の期待もなく戻ったこの須賀川もまだまだ捨てたものではないと思った。しかし、何年か後には祭も衰退し、松明の担ぎ手も減ってしまった。このような時、「松明をもりたてる会」が生まれた。少しずつ会員を増やし、青年団体、公民館、金融機関などが協力し、徐々に息を吹き返してきた。私たちも「松明あかし」の歴史について学習会を重ね、四百年の記念に目標を合わせて一年がかりの企画を立てた。当日は、音と光のページェントとして私たちが提唱した「音」の部分の「松明太鼓」が披露された。祭は衛星放送で全国に生中継された。祭を通して市民とのネットワークも広がった。「まちづくりは人づくりからはじまる。若者が動くとき、まちは変わる」この言葉を肝に銘じて活動してきた。祭を後世に伝えることはもちろん、祭を契機に新しいまちづくりをめざしてこれからも精一杯活動したい。

松明をもりたてる会　篠沢栄一

## 三、成果と反省

(一) 青年が自ら、ふるさと学習、ふるさと運動を通して、地域における存在感を確たるものとし、社会の一員としての自覚が高められた。

(二) 他団体との連携・協力により幅広い活動がなされ、今後の活動の基礎となった。

(三) 青年が各世代との交流を持つことにより、豊かな社会性と地域の中で生きる自信を身につけることができた。

(四) 自分たちの住んでいる地域の歴史、文化に対する理解を深めるとともに、ふるさとを見直すことにより、ふるさとへの愛着心が高められた。

(五) 青年団体活動の活性化とリーダーの育成が図られた。

## 四、おわりに

「ふるさと」は自分が生まれ育ったところ。青年たちは自分を育んでくれた「ふるさと」を愛しながら、その現状を見つめ直し、「ふるさと」とともに心豊かに生きる道を見出そうとして努力しています。

県教育委員会では、ここに紹介した事業の成果を踏まえ、青年と地域づくりを結びつける継続的な活動を、今後も展開していく予定です。

表1　「ふるさと学習」の地区別実施概要

| 地区 | 学習内容 | 実施場所 | 日時 | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 福島市 | ふるさと学習シンポジウム（マイカントリーシンポジウム | 福島市中央公民館 | 平成2年 1.27 | 溝口俊夫<br>星彰一 |
| | 郷土の自然を守ろう（ブナの森・夢空間） | 福島市中央公民館 | 平成2年 1.27 | 溝口俊夫<br>佐藤修 |
| 川俣町 | 舘ノ山"桜でいっぱい"プロジェクト学習会 | 川俣町中央公民館 | 平成元年 11.30 | 高橋圭次<br>高橋松一 |
| | 舘ノ山調査研究・模型づくり | 舘ノ山・公民館 | 平成元年 12.13 | 造園家<br>古川道朗 |
| 須賀川 | ふるさとの伝統・文化を継承しよう（松明あかし学習会） | 須賀川市商工会館 | 平成元年 10.2 | 宗方保<br>高久田大一朗 |
| | 松明製作学習会 | 須賀川市商工会館 | 平成元年 9.10 | 小口大八 |
| 浪江町 | ふるさと浪江を知る学習（ふるさと浪江シンポジウム） | 浪江町サンライフ | 平成2年 2.25 | 福大教授 下平尾勲<br>民報社 花田勗<br>鈴木廣治<br>今野庄 |

表2　「ふるさと運動」の地区別実施概要

| 地区 | 学習内容 | 実施場所 | 日時 | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 福島市 | 郷土の自然にふれる運動「白銀のペイジェントスノーパラダイス90」 | 高湯スキー場 | 平成2年 2.25 | 木村宏美<br>佐藤孝<br>白坂美佐子<br>斉藤公子<br>渡辺高次 |
| 川俣町 | 舘ノ山クリーン作戦（清掃活動） | 川俣町舘ノ山 | 平成元年 10.22 | 管野定男<br>高木保夫<br>管野功 |
| 須賀川 | 松明製作活動<br>松明松あかし | 須賀川高校<br>須賀川市五老山 | 平成元年 10～11<br>平成元年 11.11 | 小貫巧<br>中澤千早一<br>篠沢栄一<br>武田計夫<br>渡辺栄 |
| 浪江町 | ふるさと浪江を知らせる運動（ふるさと浪江青年キャラバン<br>ふるさとを知らせるとともに研修をする（手づくり研修） | 埼玉県三郷市<br>草加市<br>群馬県<br>新治村 | 平成2年 1.18～1.19 | 近藤一彦<br>末永福男<br>島田竜朗<br>鈴木喜美子<br>今野庄治 |